

# 2018年度 第3四半期 決算説明資料

2019年2月12日（火）  
船井電機株式会社

証券コード 6839

## I. 決算概要（連結）

1. 第3四半期(2018年10月-12月) 決算概要
2. 第3四半期累計(2018年4月-12月) 決算概要
3. 第3四半期累計(2018年4月-12月) 経常利益・四半期純利益
4. 機器別売上高
5. DVD関連機器の売上高
6. テレビ関連機器の売上高
7. 情報機器の売上高
8. 仕向地別売上高
9. 営業利益増減要因
10. 貸借対照表の状況
11. 棚卸資産
12. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

# 1. 第3四半期(2018年10月-12月) 決算概要

〈単位：億円〉

	2017年度 3Q	2018年度 3Q	前年同期比 ( )は増減率
売上高	366	343	△23 (△6.4%)
営業利益 (営業利益率)	△18 (△5.0%)	11 (3.4%)	+29
経常利益 (経常利益率)	△22 (△6.1%)	+0 (0.2%)	+22
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	△24 (△6.6%)	+0 (0.2%)	+24

期中平均為替レート (米ドル)	112.73円	112.57円
-----------------	---------	---------

月末為替レート	17年9月	17年12月	18年9月	18年12月
(米ドル)	112.73円	113.00円	113.57円	111.00円

## 2. 第3四半期累計(2018年4月-12月) 決算概要

〈単位：億円〉

	2017年度 3Q累計	2018年度 3Q累計	前年同期比 ( )は増減率
売上高	1,087	810	△277 (△25.5%)
営業利益 (営業利益率)	△58 (△5.4%)	△5 (△0.6%)	+53
経常利益 (経常利益率)	△58 (△5.4%)	△1 (△0.1%)	+57
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	△155 (△14.3%)	7 (0.9%)	+162

期中平均為替レート (米ドル)	111. <sup>77</sup> 円	111. <sup>32</sup> 円
-----------------	----------------------	----------------------

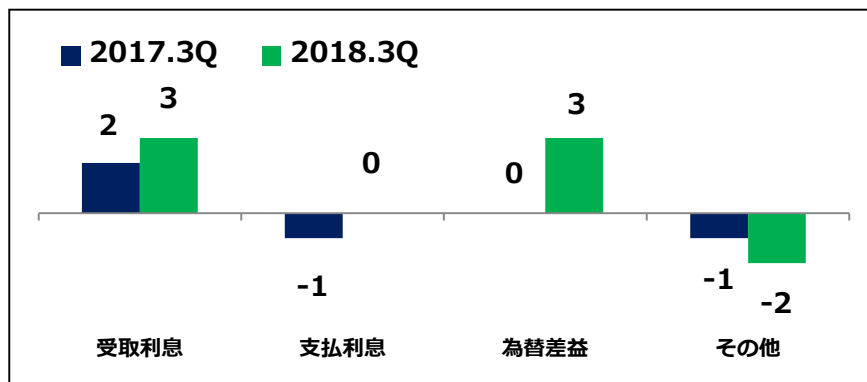
月末為替レート (米ドル)	17年3月	17年12月	18年3月	18年12月
	112. <sup>19</sup> 円	113. <sup>00</sup> 円	106. <sup>24</sup> 円	111. <sup>00</sup> 円

### 3. 第3四半期累計(2018年4月-12月) 経常利益・四半期純利益

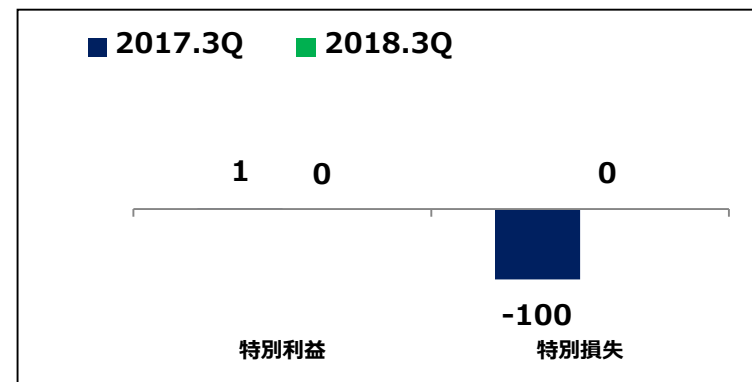
〈単位：億円〉

	2017年度 3Q累計	2018年度 3Q累計	前年同期比
<b>営業利益</b>	△58	△5	+53
営業外収益	(※1) { 3	8	5
営業外費用	3	4	1
<b>経常利益</b>	△58	△1	+57
特別利益	(※2) { 1	0	△1
特別損失	100	0	△100
<b>税引前純利益</b>	△157	△1	+156
法人税等	△2	△8	△6
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	△155	7	+162

(※1 営業外損益内訳) マイナス表示は利益にマイナス影響



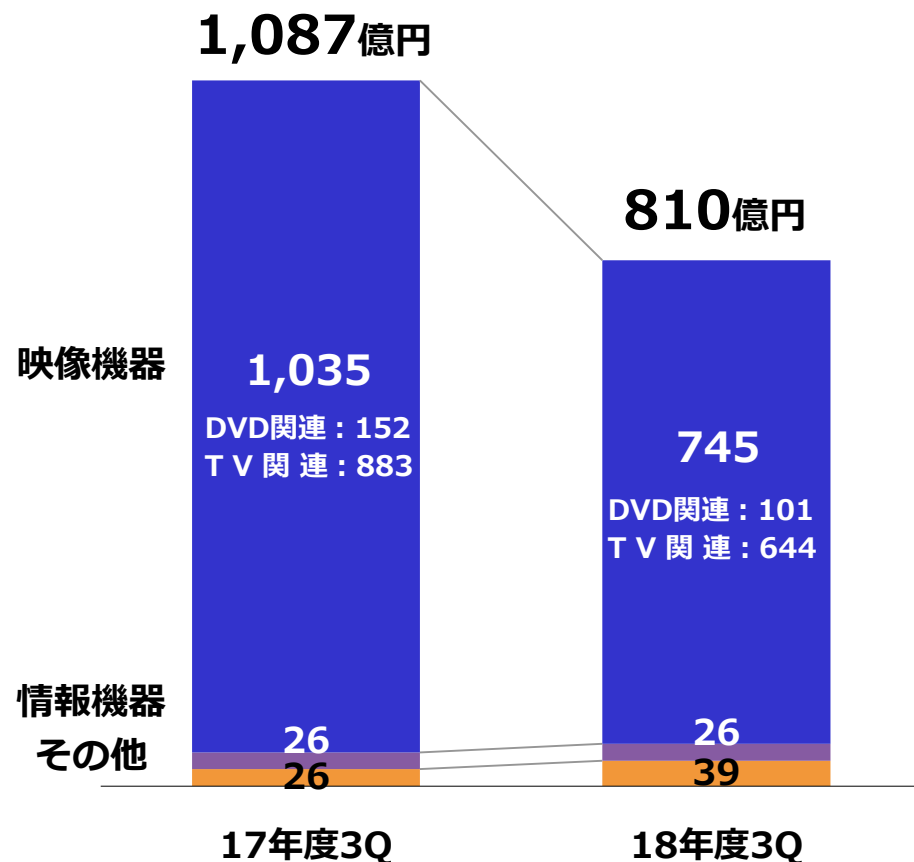
(※2 特別損益内訳)



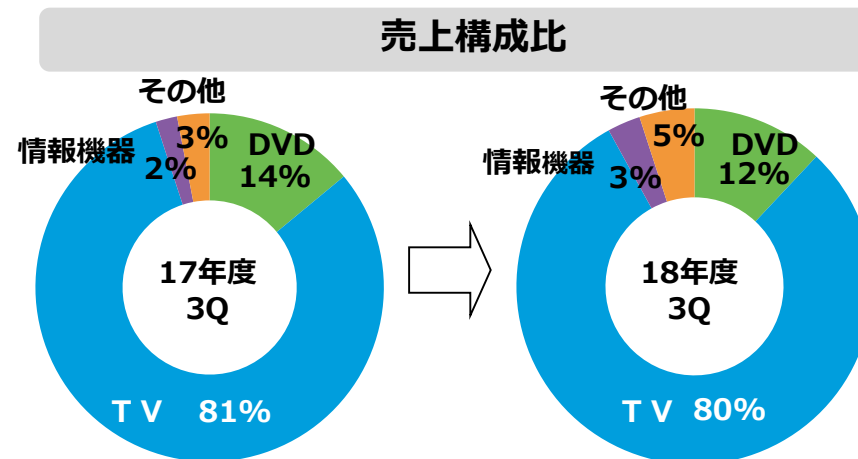
# 4. 機器別売上高

- ▶ 映像機器：北米の流通在庫調整局面の影響にてDVD関連及びTV関連の売上減少により減収
- ▶ 情報機器：インクジェットプリンターの販売減、業務用インクカートリッジの売上増加により横ばいを維持

〈単位：億円〉



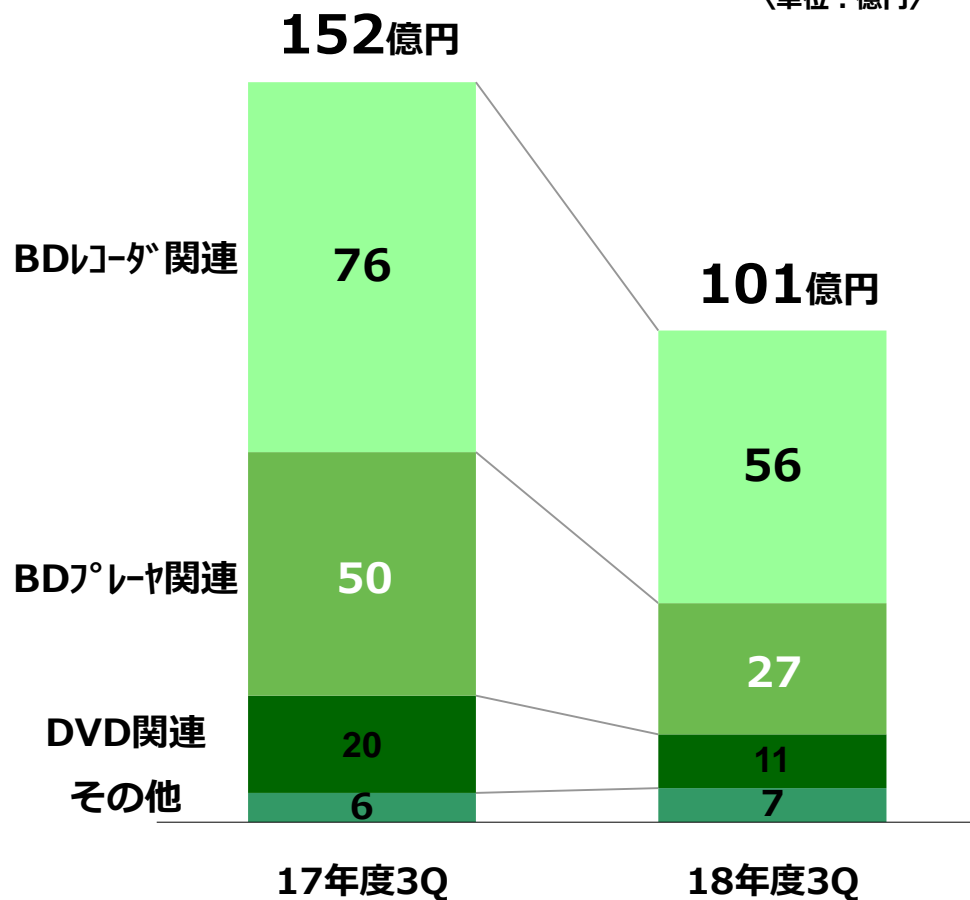
Category	前年同期比 (億円)	( ) は増減率 (%)
映像機器	△290億円	(△28.1%)
DVD 関連	△51億円	(△33.8%)
TV 関連	△239億円	(△27.1%)
情報機器	+0億円	( +0.8%)
その他	+13億円	(+51.2%)
<b>合計</b>	<b>△277億円</b>	<b>(△25.5%)</b>



# 5. DVD関連機器の売上高

➤ インターネット動画配信サービスの影響を受けDVD・BD関連製品の需要が落ち込んだこと、並びに日本の2018年度新製品の市場投入時期を、1か月程度ずらしたことにより減収

〈単位：億円〉

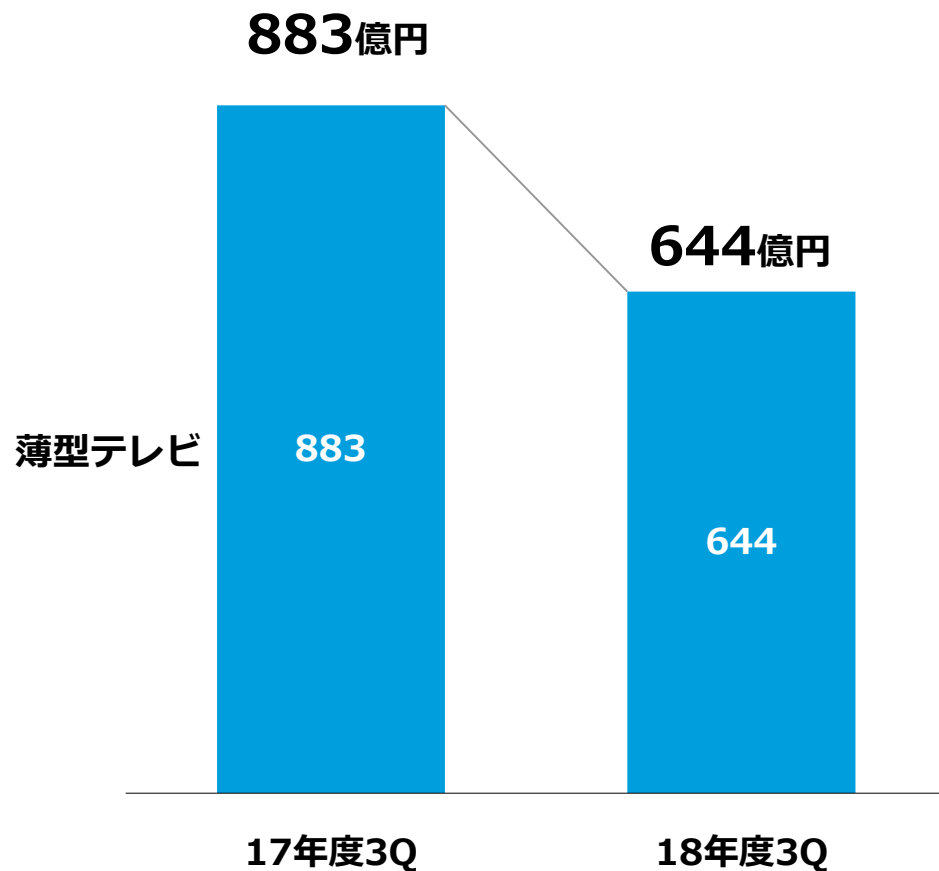


	前年同期比 ( ) は増減率	
BDレコーダ関連	△20億円	(△26.9%)
BDプレーヤ関連	△23億円	(△46.6%)
DVD関連	△9億円	(△45.6%)
その他	+1億円	(+25.6%)
<b>合計</b>	<b>△51億円</b>	<b>(△33.8%)</b>

## 6. テレビ関連機器の売上高

➤ 主力販売市場の北米マーケットにおいて流通在庫調整局面が続き、新規販売が伸び悩み減収

〈単位：億円〉



前年同期比 ( ) は増減率

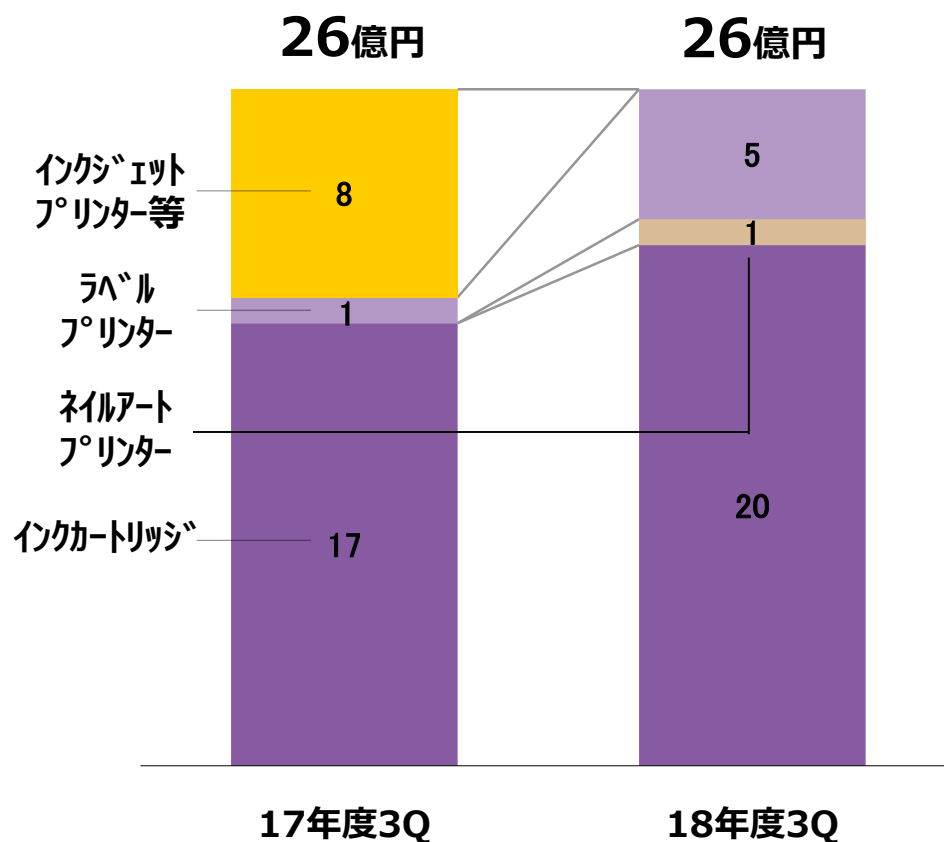
薄型テレビ △239億円 (△27.1%)



# 7. 情報機器の売上高

▶ 不採算製品のインクジェットプリンターの販売を絞った一方で、新製品であるクーポンプリンター、ネイルアートプリンターの販売及び業務用インクカートリッジの売上増加により横ばいを維持

〈単位：億円〉

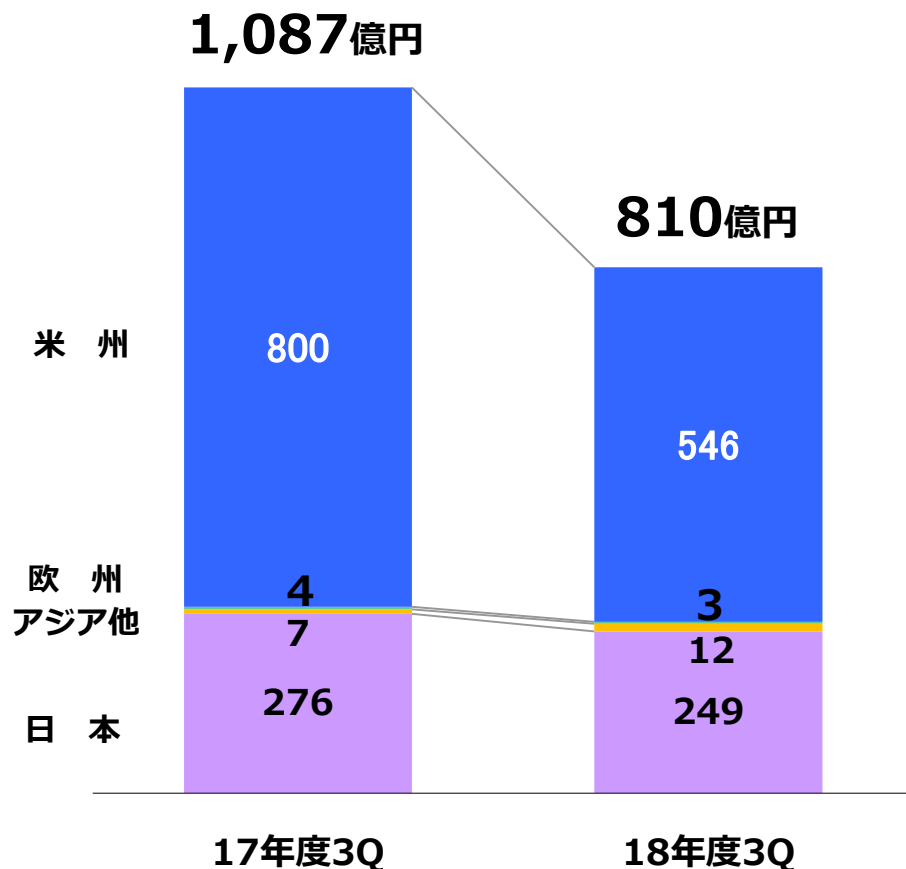


	前年同期比 ( ) は増減率	
インクジェットプリンター等	△8億円	( △94.8%)
ラベルプリンター	+4億円	( +556.1%)
ネイルアートプリンター	+1億円	( - )
インクカートリッジ	+3億円	( +11.5%)
<b>合計</b>	<b>+0億円</b>	<b>( +0.8%)</b>

# 8. 仕向地別売上高

- 米州：北米マーケット全体が過剰在庫を抱え、大手量販店が在庫処分を先行させた結果、液晶テレビ、DVD・BD関連製品の新規販売は伸び悩み減収
- 日本：2018年度新製品の市場投入時期を、前年より1か月程度ずらしたことにより減収

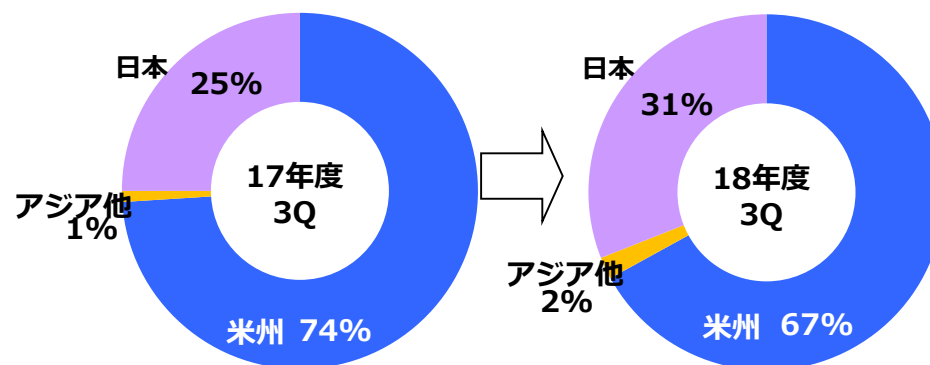
〈単位：億円〉



前年同期比 ( ) は増減率

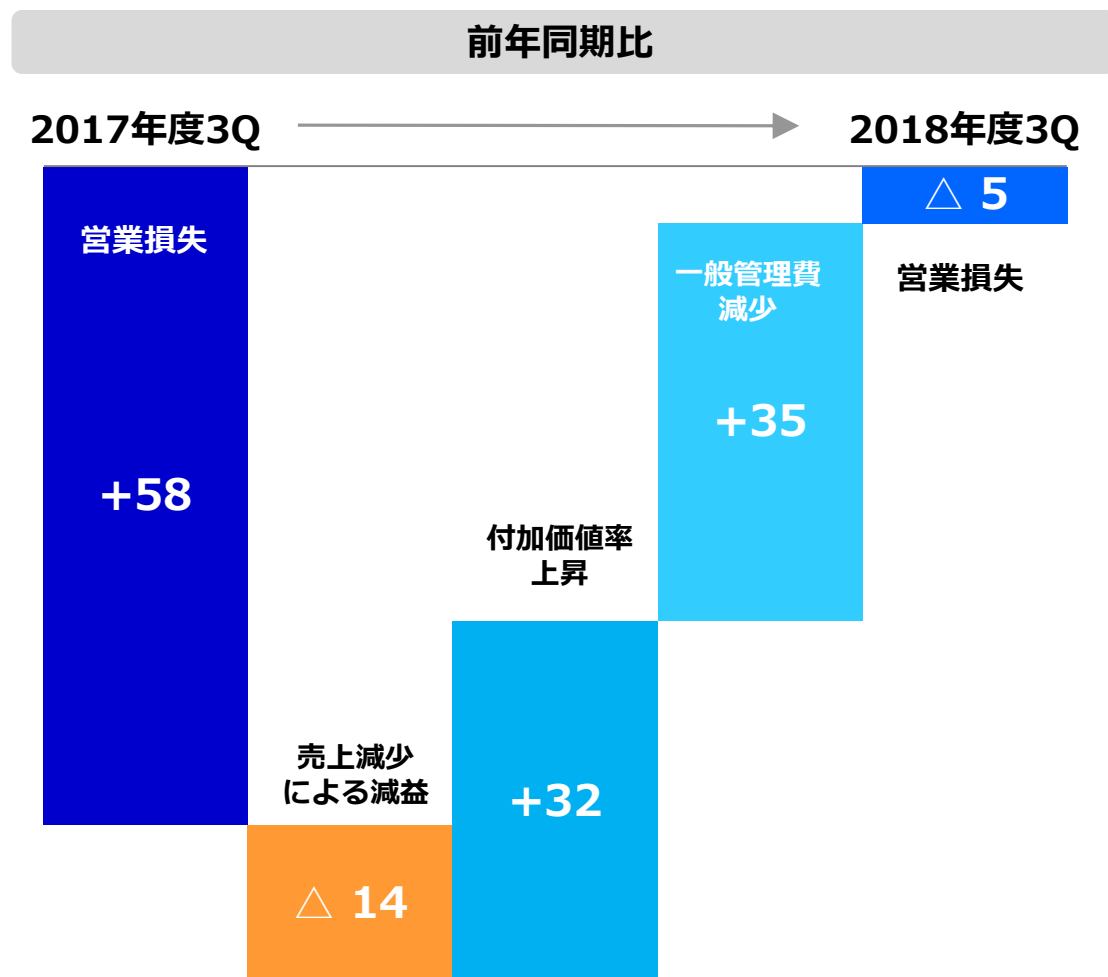
米州	△254億円	(△31.9%)
欧州	△1億円	(△24.3%)
アジア他	+5億円	(+83.3%)
日本	△27億円	(△9.8%)
<b>合計</b>	<b>△277億円</b>	<b>(△25.5%)</b>

売上構成比



# 9. 営業利益増減要因

〈単位：億円〉

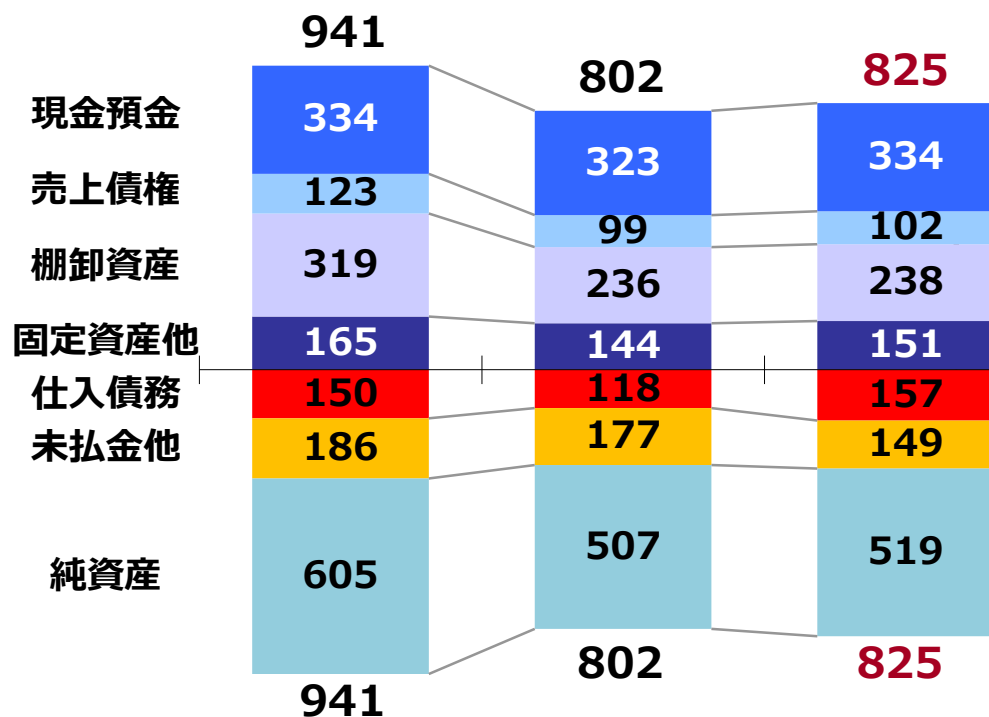


# 10. 貸借対照表の状況

〈単位：億円〉

資産の状況

負債・純資産の状況



前期末比

<b>資産の状況</b>	<b>+23億円</b>
・ 現金預金	+11億円
・ 売上債権	+3億円
・ 棚卸資産	+2億円
・ 固定資産他	+7億円
<b>負債の状況</b>	<b>+11億円</b>
・ 仕入債務	+39億円
・ 未払金他	△28億円
<b>純資産の状況</b>	<b>+12億円</b>
<b>(自己資本比率)</b>	<b>62.9%</b>

2017年12月末

2018年3月末

2018年12月末

# 11. 棚卸資産

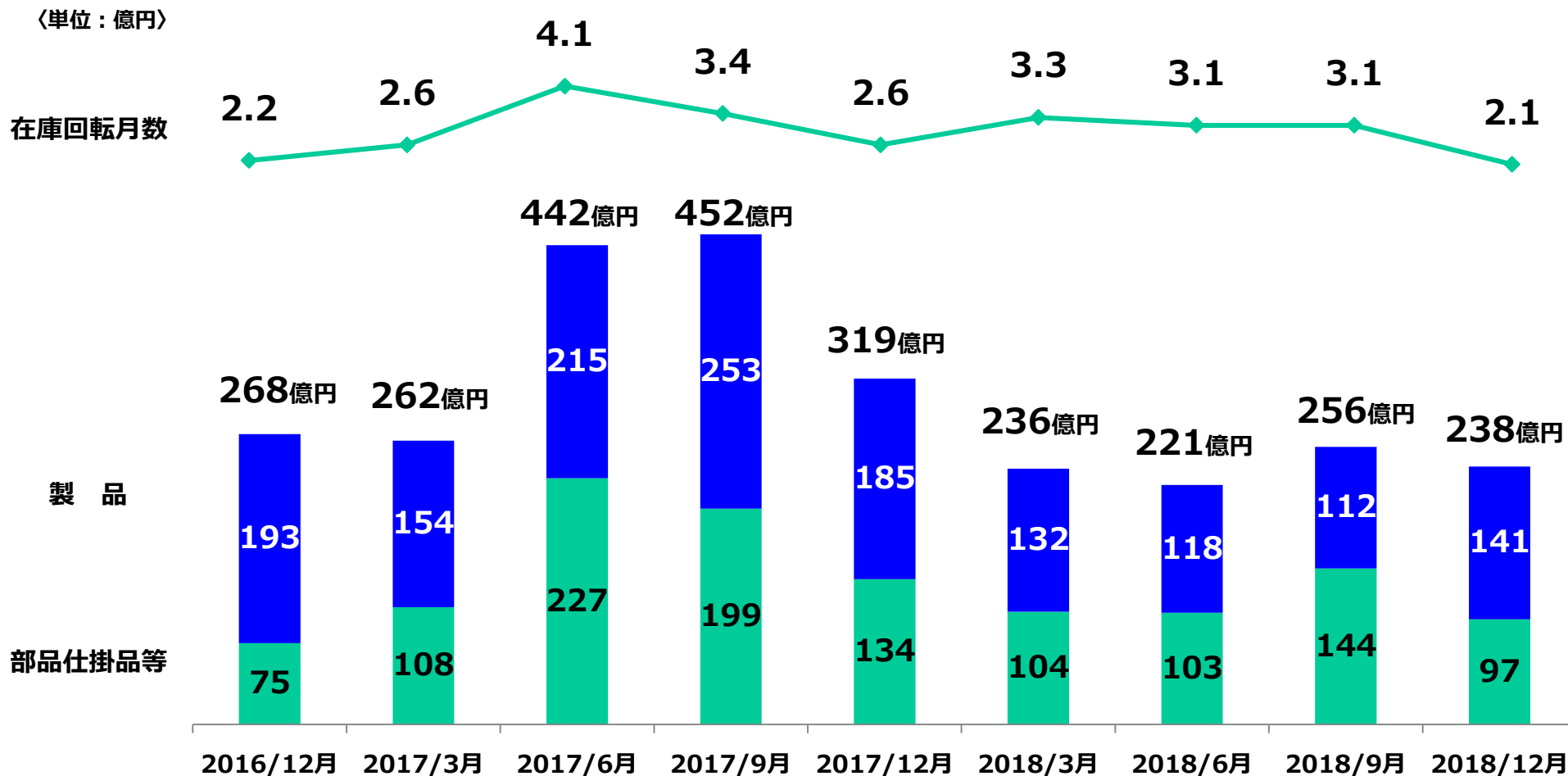
前期末比

製品  
部品仕掛品等

: + 9億円

: △ 7億円

〈単位：億円〉



\* 在庫回転月数 = 棚卸資産 ÷ 直近3か月売上平均

# 12. 設備投資額・減価償却費・研究開発費

## 第3四半期

設備投資額

減価償却費

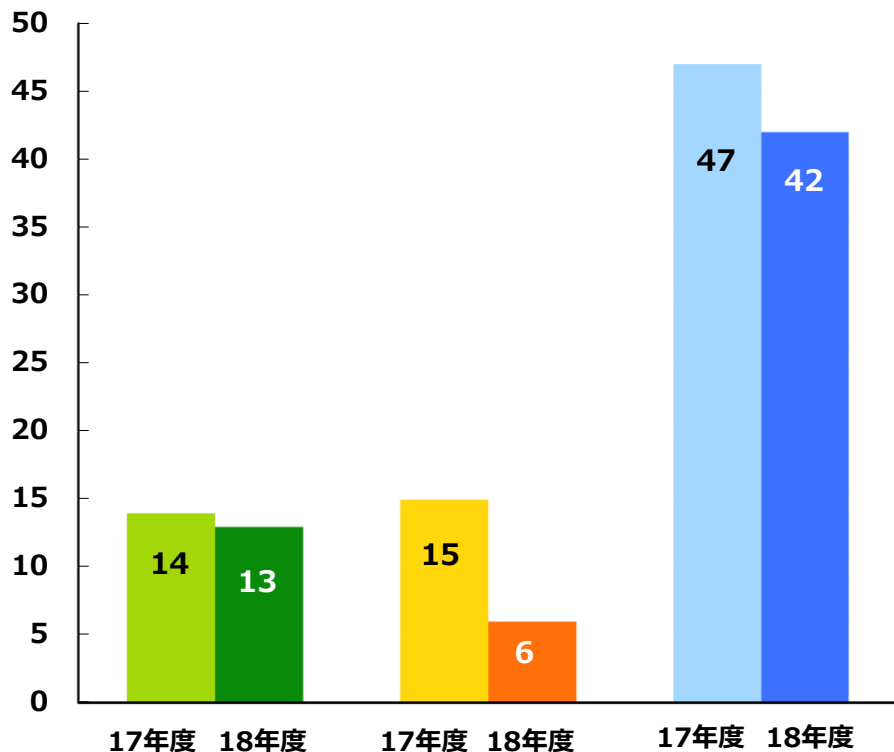
研究開発費

前年同期比  
△1億円

前年同期比  
△9億円

前年同期比  
△5億円

〈億円〉



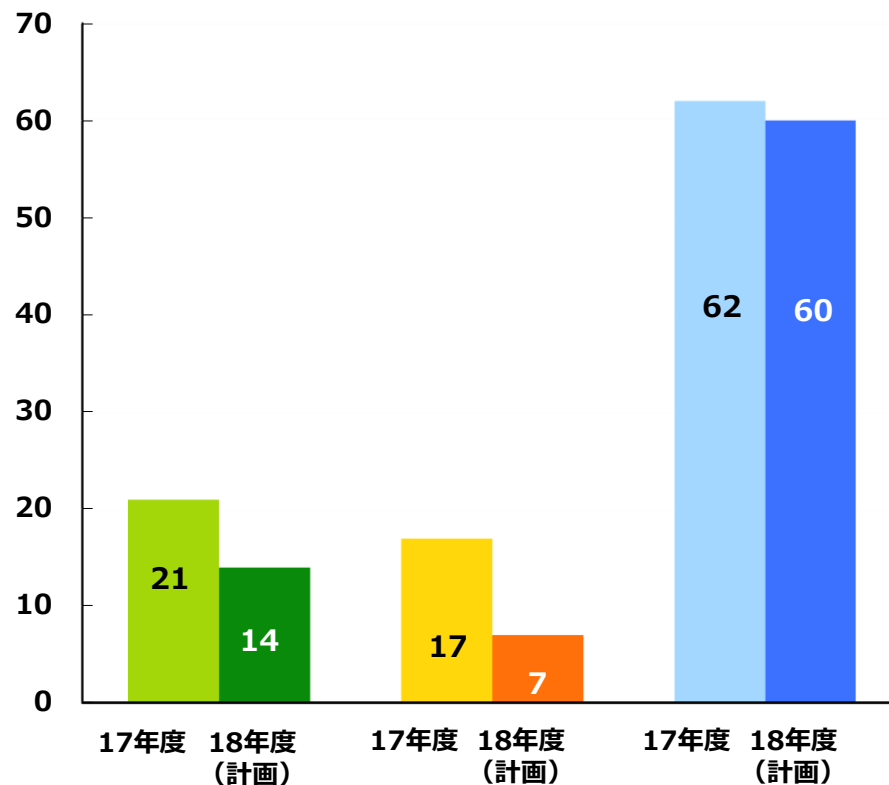
## 通 期

設備投資額

減価償却費

研究開発費

〈億円〉



## 補足資料

1. 四半期別決算概要
2. 機器別売上高の推移（四半期）
3. 仕向地別売上高の推移（四半期）

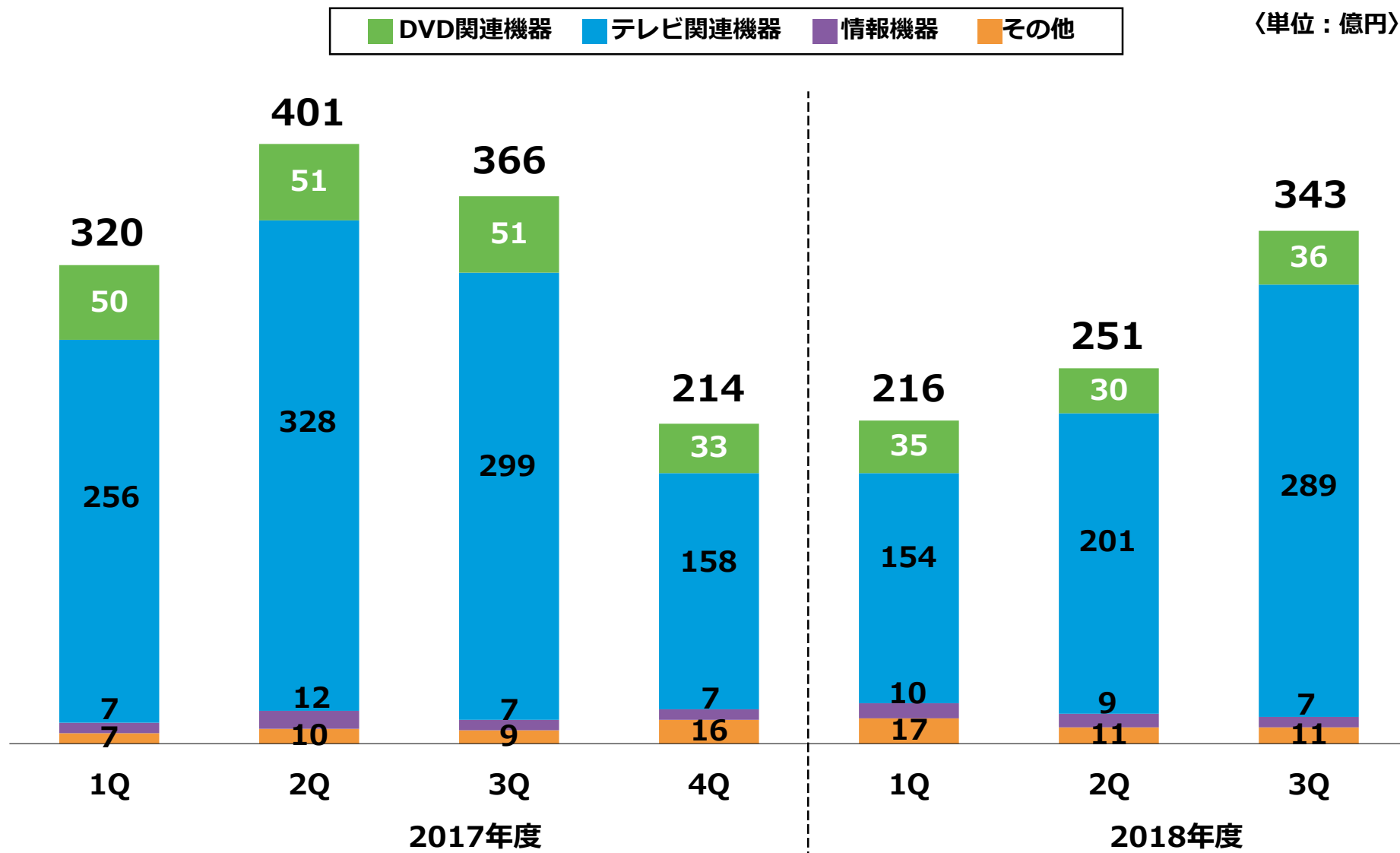
# 1. 四半期別決算概要

〈単位：億円〉

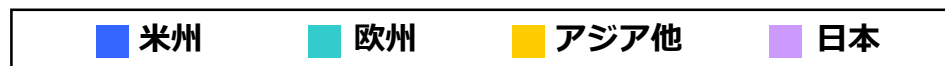
	2017年度				2018年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	320	401	366	214	216	251	343
営業利益	△23	△17	△18	△50	△12	△4	11
(営業利益率)	(△7.3%)	(△4.3%)	(△5.0%)	(△23.4%)	(△5.7%)	(△1.6%)	(3.4%)
経常利益	△21	△14	△22	△60	△9	7	+0
(経常利益率)	(△6.7%)	(△3.7%)	(△6.1%)	(△28.3%)	(△4.2%)	(2.9%)	(0.2%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△15	△115	△24	△92	△0	6	+0
(四半期純利益率)	(△4.7%)	(△28.9%)	(△6.6%)	(△43.1%)	(△0.1%)	(2.7%)	(0.2%)
為替レート (円/米国ドル)	111. <sup>41</sup>	111. <sup>16</sup>	112. <sup>73</sup>	107. <sup>46</sup>	109. <sup>53</sup>	111. <sup>88</sup>	112. <sup>57</sup>



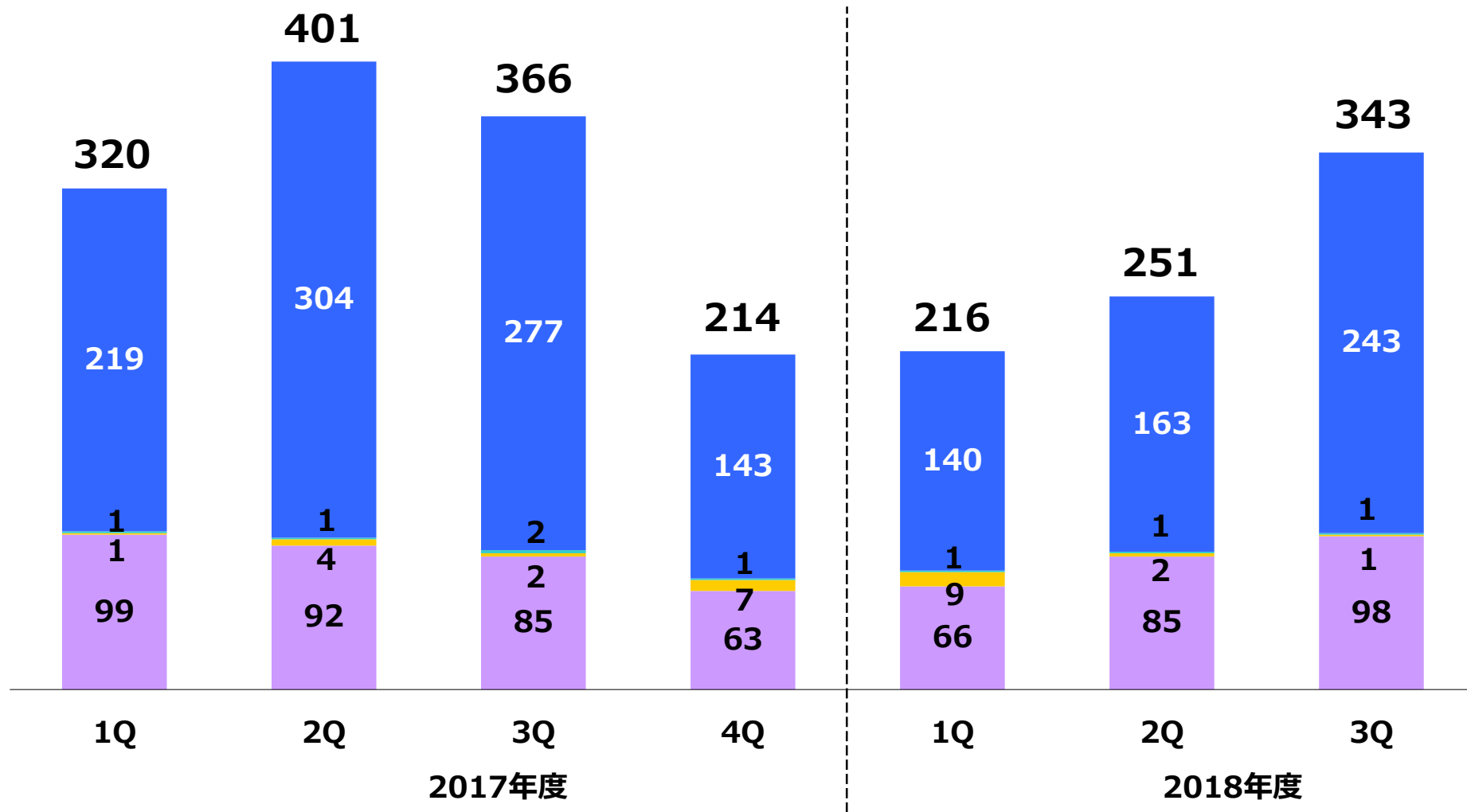
## 2. 機器別売上高の推移（四半期）



### 3. 仕向地別売上高の推移（四半期）



〈単位：億円〉



本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。